

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	家庭的な雰囲気を大切に支援しているが、ご利用者へ馴れ馴れしい言葉遣いが、時々出ることがある。	『介護現場における接遇を意識して、日々の支援ができる』 ⇒相手の気持ちを汲み取りながら、思いやりの気持ちを持ったコミュニケーションにより、入居者が不快・不安な思いをせずに居場所だと安心できる支援を心掛ける。	◎毎月、チームで取り組む小さな目標を立てて各ユニットに貼り出し、目標の達成状況をグループホームの全体会議で振り返る。 →言葉遣い、スピーチロック等に着眼点をおいて ◎支援の基盤となる知識を得る為に、認知症についてや加齢に伴う心身の変化等についての学習の機会をつくる。入居者一人ひとりに個性がある事を理解する。 →グループホーム全体会議での学習会開催、ユニット会議での個別のケース検討 等	7ヶ月
2	2	新型コロナウイルス感染症の影響も大きいですが、地域行事への参加ができず、交流の機会がなくなった。	『地域の一員として地域と繋がりながら暮らし続ける事が出来る』 ⇒地域の皆さんと交流できる機会を逃さず、顔の見える関係づくりができる。	◎地域の行事に積極的に参加する。 ◎グループホームの入居者も、姉小路版・認知症カフェである「姉カフェ」に継続して参加する。 ◎運営推進会議で、入居者も気軽に出席・発言ができる。 ◎ご近所への外出が日常的・気軽にできる。	7ヶ月